

《どうでもいい話、その 553》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

今年度もあと数日を残し、来週から新年度になります。先日、ボランティアで通っている地元の中学校で卒業式前日の「お別れ会」があり、支援している3年生の生徒の付き添いで出席しました。コロナの影響で、3年生と先生方だけでしたが、我々の時代とは全く違う ぐだけた、そして感動する会でした。まず校庭で生徒たちの合唱と演奏があり、それが終わると講堂に移動して、舞台上で最初に生徒同士のコント、寸劇、次に今まで3年間の授業、体育会、クラブ活動、合宿などの写真と動画を大きなスクリーンで映します。自分たちが映るとキャーキャー大騒ぎです。次のプログラムは男の先生二人の漫才で、授業中とか学校のことをチャカし、これも大いにウケて生徒たちは大爆笑でした。そして最後に先生方が一人ずつ挨拶をしました。話しているうちに感極まって泣く先生もおり、後ろの席に座っていた ごつい体の男子生徒も話を聞きながら涙ポロポロでした。一方「これから道ばたで通りすがりに先生が若い女の人と歩いていても、声を掛けずに無視してください」などと言う50代くらいの男の先生もいて 楽しく、そして感動のお別れ会でした。

岩波より